

<「知るっば!久留米」 令和2年7月2日(木) 12:30~放送分>

筑後川の生き物 ～第1回～ くるめウス

<ゲスト：筑後川防災施設くるめウス 川嶋 睦己さん>

坂本 MC (以下「坂本」)

「知るっば!久留米」ナビゲーターの坂本豊信です。

7月は久留米のシンボルである筑後川について知ろうということで、『筑後川の生き物』をテーマにお送りしていきます。

今回のゲストは、この方です。

ゲスト:川嶋睦己さん (以下「川嶋」)

筑後川防災施設くるめウスの川嶋睦己と申します。

よろしくお願いします。

坂本 筑後川の生き物シリーズ第1回のテーマは、『くるめウス』です。

まずは名前に川が付いている川嶋さん、普段はどんなことをなさっているのか簡単に自己紹介をお願いします。

川嶋 百年公園の東側にあります『筑後川防災施設くるめウス』で、ふるさとの大河『筑後川』と市民のみなさんとのご縁結びをさせてもらっています。

具体的に申し上げますと、筑後川は昔から大変洪水が多い川ですので、水害から身を守る水防災、水疱瘡ではなく水の防災について知っていただくイベントや、講演会の開催、筑後川に棲む生き物の展示や川遊び体験の受け入れなどを行っています。

川の何でも屋さんといったところですかね。

坂本 なかなかお忙しいようですが、『くるめウス』のウスって何ですか？

餅をつく臼ですか？みたいに聞かれることもあるかもしれませんが、『くるめウス』の名前の由来をまず教えてください。

川嶋 筑後川水系には、ニッポンバラタナゴというお魚が棲んでいます。

その名のおりオスのお腹がバラ色に発色するとっても美しい魚なんですけど、このお魚の世界共通の学名が『ローデウス・オセラータス・クルメウス』と言うんですね。

ラテン語で『久留米産のバラ色の目玉をした生き物』という意味らしいですね。

こちらから名前をいただきました。

坂本 なるほど、私も市の広報を長年やってきているので『クルメウス』というのは知ってたんですが、学名がそういう長い名前というのは初めて知りました。
じゃあ、『クルメウス』について、もっと色々教えてください。

川嶋 お魚には色々な呼び方があるんです。
人もそうですね、私の場合、職場では『川嶋さん』と呼ばれるんですけど、実家に帰ると40歳過ぎてるのに『むっちゃん』と呼ばれますし、家に帰ると奥さんには『おい!』と呼ばれてます。
まあ、それは冗談ですが、このお魚も同じように久留米の周辺だとシビンタ、シビンチャ、シュブタという感じで、地域ごとに色々な呼び方があるんです。
でも、それだと不便なこともありますので、国内で共通する標準和名というのや、どの国でも共通する学名というのが付けられているんです。

坂本 シビンタは、私も小さい頃に聞いたことがあります。
標準和名というのは日本共通、学名は世界共通の名前ということですね。
それにしても、『ローデウス・オセラータス・クルメウス』は長いですよね？
この名前は、どういう経緯で付いたんでしょう？

川嶋 今からおよそ100年前の1900年代初めに、久留米市の筑後川で捕獲されたニッポンバラタナゴが生き物を分類する上での基準標本というのになったそうです。
クルメウスのウスってというのは、ラテン語でどこどこ産とか、どこどこで産まれたという意味があるらしく、それで、久留米産という意味らしいです。
大きさがだいたい2cmから4cmぐらいで比較的小さなお魚なんですけど、横から見ると少し菱形をしているお魚です。

坂本 このお魚は、バラ色で小さくて可愛らしいのですが、どこかで直に見ることはできるんですか？

川嶋 くるめウスの施設の中に水槽をたくさん置いておまして、クルメウスだけではなく、筑後川に住んでいるたくさんの生き物に会うことができます。
常時、約30種類の魚や亀などを展示してまして、私もその中の1つとなっています。
それから、昭和28年当時の水害の写真ですとか、水害に備える豆知識なども紹介しています。
『筑後川防災施設くるめウス』の出口は、筑後川への入り口になっています。
この施設の北側には筑後川の河川敷が広がってまして、街中でありながら、とてもとても大きなふるさと自然を感じるができるのかなと思います。

坂本 『筑後川防災施設くるめウス』は、立地も好条件のとても良いところに建っています。
くるめウスの川嶋さん、今日は大変興味深いお話をありがとうございました。
筑後川防災施設くるめウスは、久留米市新合川の筑後川の側にあります。
開館時間は、午前9時30分から午後5時までで、毎週月曜日はお休みです。
ぜひお出かけ下さい。

なお、新型コロナウイルス感染の状況によっては、休館することもありますのでご注意ください。

次回は、『旬の魚 エツ』をテーマにお届けします。

川島さん、来週もよろしくお願いいたします。